

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。この説明書は、必ず保管してください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。
なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。
注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、および物的損害だけの発生が想定される場合。

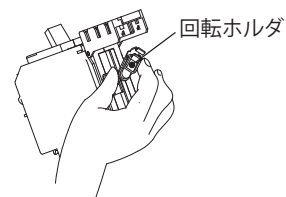
お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

- してはいけない
- 必ず守る

■施工上のご注意

危険	
接触禁止	母線や端子部に触れないでください。短絡事故・感電のおそれがあります。
	母線が充電している状態で、プラグインスリムブレーカを母線から引き抜いたり差し込んだり、ストッパを解除しないでください。短絡事故・感電のおそれがあります。

注意	
分解禁止	修理・分解・改造は行わないでください。火災・感電・故障のおそれがあります。
	高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃などの異常環境に設置しないでください。感電・火災・動作しないおそれがあります。
	1つの電線挿入口に2本以上の電線を差し込まないでください。火災のおそれがあります。
	電線が変形・腐食している場合は、電線をむき直してから接続してください。火災のおそれがあります。
	電線の接続は、各極の端子に電線が平行に接続されるように、事前に電線を成形した上で行ってください。また、ブレーカの端子に電線の重量が過度に加わらないように、電線を固定してください。火災のおそれがあります。
	電気工事は、有資格者（電気工事士）が行ってください。
	ごみ、コンクリート粉、鉄粉、虫などの異物および雨水などが製品内部に入らないように施工してください。火災・動作しないおそれがあります。
	電線を差し込んでも橙色の接続完了表示が出ない場合は、電線のむき長さを再確認し、接続し直してください。電線の差し込みが不十分な場合、火災のおそれがあります。
	相、電圧切替えを行う際、回転ホルダを持って回転させてください。プラグイン端子を持って無理に力を加えると変形し、発熱・発火のおそれがあります。



■使用上のご注意

危険	
接触禁止	母線や端子部に触れないでください。短絡事故・感電のおそれがあります。
	母線が充電している状態で、プラグインスリムブレーカを母線から引き抜いたり差し込んだり、ストッパを解除しないでください。短絡事故・感電のおそれがあります。

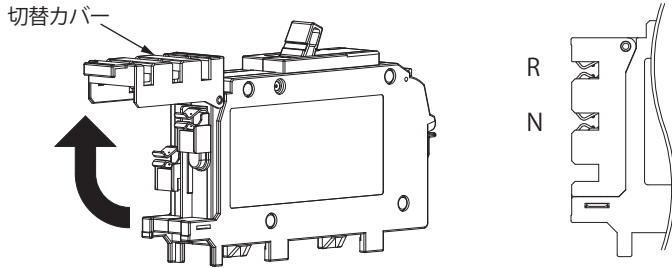
注意	
	自動的に遮断した場合は、原因を取り除いてからハンドルを入「ON」にしてください。感電・火災のおそれがあります。
	保守・点検作業は、専門知識を有する人が上位ブレーカを切「OFF」にし、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。
アースせよ	電気機器のアース端子は必ず接地してください。漏電機能が動作せず、感電するおそれがあります。

■負荷バランスと電圧変更の切替方法

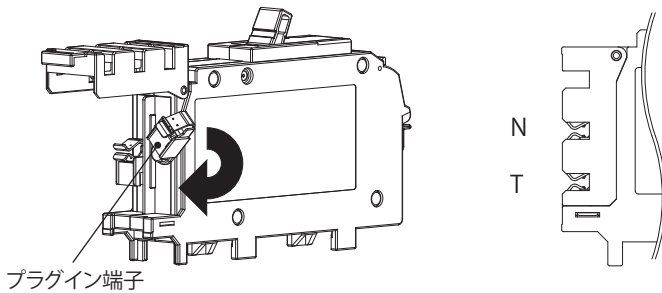
●単相3線式の場合

相切替方法

1. ブレーカ電源側の切替カバーを開けてください。
(最大までカバーを開けると、その位置で固定されます)



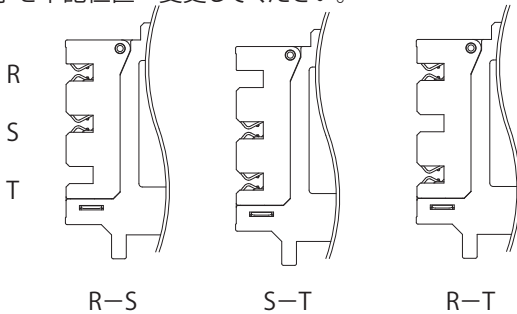
2. 右側のプラグイン端子を下図のように回転させて、プラグイン端子の位置を変更してください。



3. プラグイン端子位置を確認し、切替カバーを閉じてください。

●三相3線式の場合

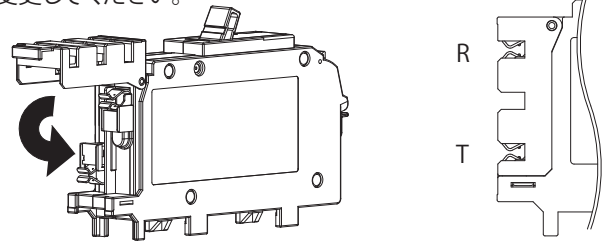
- ・単相3線式の相、電圧切替方法と同様にプラグイン端子を下記位置へ変更してください。



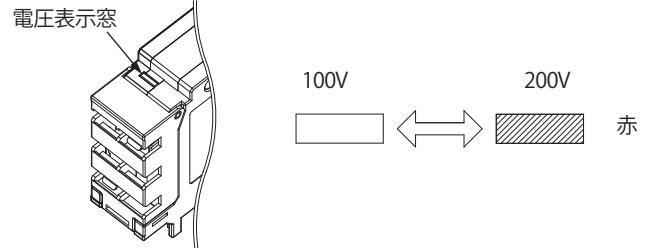
電圧切替方法

2P2Eタイプのみ

- ・左記方法と同様に、左側のプラグイン端子を下記の位置へ変更してください。

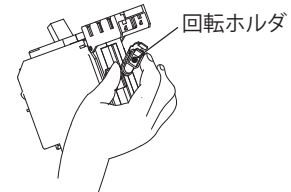


- ・その際、ブレーカ上部に200V表示(赤色)が出ていることを確認してください。



⚠注意

相、電圧切替を行う際、回転ホルダを持って回転させてください。プラグイン端子を持って無理に力を加えると変形し、発熱・発火のおそれがあります。

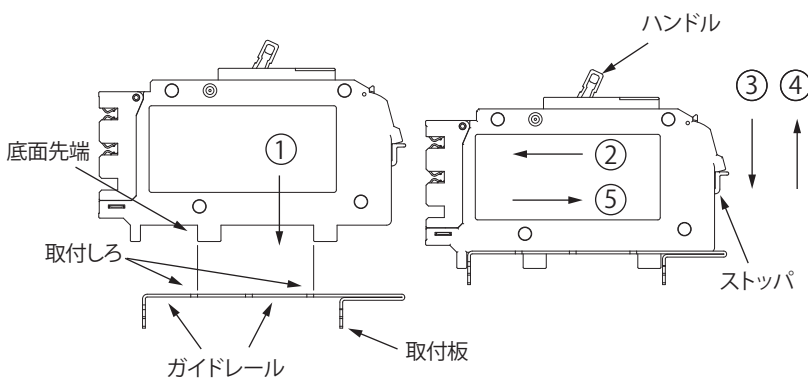


ご注意

相切替えと電圧変更が可能なのは 2P2E タイプのみです。2P1E タイプは相切替えのみ可能、電圧変更はできませんのでご注意ください。

■本体の取付け・プラグイン端子の接続

- ・プラグイン端子の位置を確認してください。
- ・単相100V回路で使用する場合は相のバランスを考慮して切り替えてください。
- ・2P1EタイプはAC100V専用です。AC200Vへの切り替えはできません。



<取り付け>

- ① ブレーカの底面先端を取付板の取付しろに合わせて置く
- ② ガイドレールに沿って奥まで水平に差し込む
- ③ ストップを下側(保持位置)に降ろす

<取り外し>

- ④ ストップを上側(取り外し位置)に上げる
- ⑤ ハンドルに指を掛けて負荷側に水平に引く

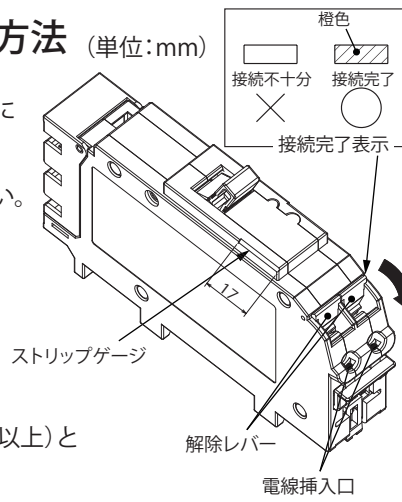
■速結端子への電線接続方法 (単位:mm)

<電線を接続する場合>

1. 電線の被覆を本体のストリップゲージに合わせて17mmむいてください。
2. 電線を電線挿入口に入れ、橙色の接続完了表示が出るまで差し込んでください。(電線挿入角度は約15°です。)

<電線を抜く場合>

解除レバーを矢印方向に押しながら電線を引いて抜いてください。(解除レバーの操作力は約7Nです。)



接続可能電線:Cu(銅)単線専用<下表参照>
(より線および一部の単線の場合は棒圧着端子使用)

接続可能電線	適合圧着端子	PNX51TA・52TA PGX51TA・52TA		
		15・20A	30A	
Cu(銅) 単線	φ1.6	○	×	
	φ2.0	○	×	
	φ2.6	○※	○	
Cu(銅) より線	1.25mm ²	<ニチフ製> TC2-20(棒圧着端子)	○	×
	2.0mm ²	VC2(絶縁キャップ)	○	×
	3.5mm ²	<日東工業製> シールドキャップ入り 棒圧着端子NA8030R,S,T	○	×
	5.5mm ²		○	○

(※はNA8030R,S,T棒圧着端子時に使用可能)

ご注意

電線の押し込み荷重が高すぎる(100N以上)と破損するおそれがあります。

⚠注意



1つの電線挿入口に2本以上の電線を差し込まないでください。火災のおそれがあります。

電線が変形・腐食している場合は、電線をむき直してから接続してください。火災のおそれがあります。



電線を差し込んでも橙色の接続完了表示が出ない場合は、電線のむき長さを再確認し、接続し直してください。電線の差し込みが不十分な場合、火災のおそれがあります。

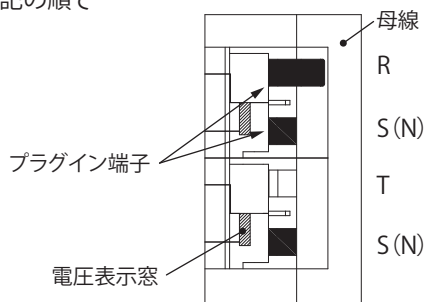
■施工時のプラグイン端子位置確認について

●相切替タイプの場合

- ・プラグイン端子位置は切替カバー(透明)より下図のように目視確認してください。

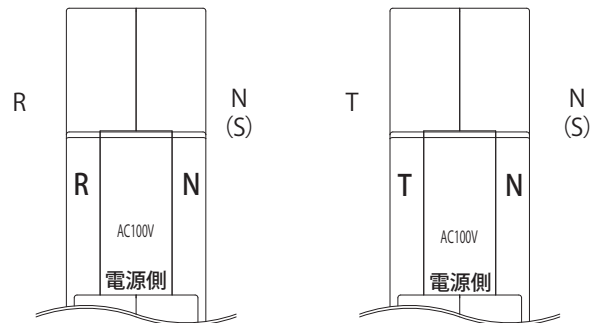
母線は、上端より下記の順で配置されています。

R
S(N)
T



●相固定タイプの場合

- ・ブレーカの天面部の印字を確認してください。

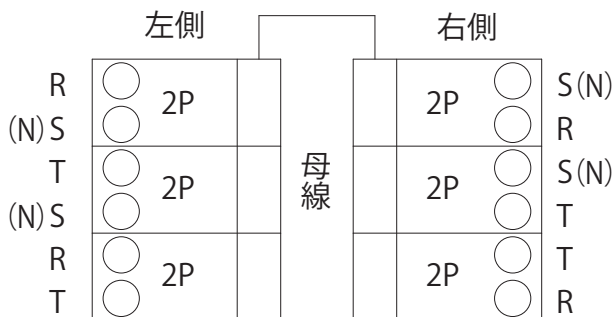


- ・プラグイン端子位置目視確認位置

R : プラグイン端子が完全に見える状態
S(N) : プラグイン端子の根本部分のみが見える状態
T : プラグイン端子が見えない状態

■ブレーカ負荷側の相順

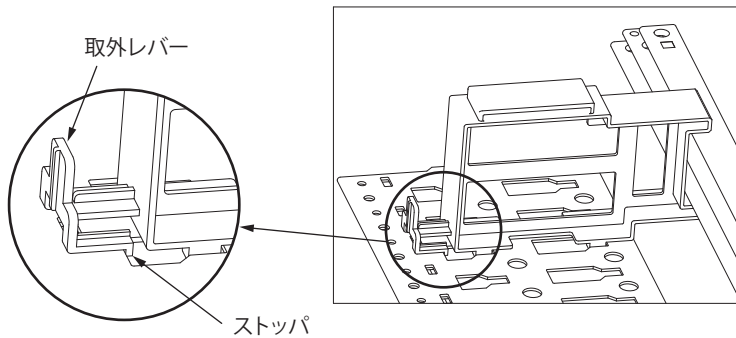
- ・ブレーカ負荷側端子と相の関係は、下記図を参照してください。



- ・単相100V回路では、弊社出荷時は向かって左側がR相とN相での100V、右側がT相とN相での100Vとなります。また片側分岐時は交互配置となります。弊社出荷時にバランスをとるために変更していることもありますのでご了承ください。

■分岐回路予備スペース

- ・ブラインドを使用します。取付けは分岐取付台のブレーカ取付溝に合わせて、分岐取付台に押さえ付けながら水平に押し込んでください。ストッパが取付溝に掛かっていることを確認してください。
- ・取り外す際は取外レバーを後方に引きながら、引き抜いてください。



施工業者名

TEL

施工年月日

年 月 日

お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問い合わせください。

TEL (0561) 64-0152

〈受付時間〉8：30～12：00、13：00～17：30(土・日・祝日は休み)

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、商品の修理やご相談への対応、および情報の提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、グループ各社と共同で利用させていただく場合があります。
- ・個人情報はあらかじめ本人の同意を得ないで、第三者に提供することはいたしません。

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。

2023年6月
B630313840

NITTO KOGYO

©NITTO KOGYO CORPORATION

- 4 -

日東工業株式会社
〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地